

関連項目：教育活動プラン②

伝える必要性の高い活動の中でどの子も話す機会を多くもつ

目的

本校の児童は、自分の思いや考えをはっきり伝え合うことが苦手です。そこで人と関わり、対話するための話し方の学びを通して、伝え合う力、認め合う力を育成することにしました。

内容

● 授業中の対話活動

45分の授業に対話する時間を確保しました。

3年図画工作科 題材名 この木 どんな木 対話活動の例

A	B
① お願いします。 私のお気に入りの木はこれです。 それは大きい木だからです。枝を見てください。くねくねしていて大男が手を広げているみたいです。だから、たくましい感じがしました。	① お願いします。
	説明
	確認
② そうですね。確かに枝に比べて幹はとっても太いですね。私は気がつかなかったけれどおもしろいですね。私もこの木は強いと思います。	② なるほど、Aさんは枝の形が気に入ったのですね。ぼくは、幹のところを見ました。すごく太くてどっしりしていると思いました。だから、とっても強くて強い風が吹いても負けないで立っているがまん強い木だと思います。
	説明
	確認
③ ありがとうございました。	③ ありがとうございました。

● 伝え合う力を育てる場づくり — 異学年活動 「栗っ子プラン」の作成と活用—

異学年での交流活動を通して、お互いに伝え合う力・つながる力を育て、お互いの成長を認め合いながら共に生きる喜びを感じられる児童を育てています。

笑顔集会



こんにちは、ぼくは〇〇です。〇〇が好きです。よろしくお願いします。

3年生が遊び道具やコート準備をし、4年生が遊び方の説明をします。

遊ぼう会



成果

子どもたちの話す力が大幅に伸びました。特に、根拠や例示を述べて聞き手を納得させる話し方や考えを比較する話し方が活用できるようになりました。

